

# 日本学校音楽教育実践学会 第30回全国大会 セミナー

## 領域横断的な視点が切り拓く 音楽教育の新たな世界

### その3 －文楽にみる近世の社会と芸能－

江戸時代、人形浄瑠璃（文楽）は大阪を起点に全国各地で上演され、大名から百姓に至るまで、あらゆる階層の人々に親しまれていました。その物語の中には、さまざまな身分の人々の暮らしが描き込まれています。音楽の教科書に取り上げられている『義経千本桜』や『新版歌祭文』などを例に挙げながら、文楽と当時の社会との関わりや、その音楽的魅力について考えてみたいと思います。－久堀裕朗

#### 講師

久堀 裕朗氏  
(大阪公立大学)

#### 日時

2025年  
8月23日（土）  
9:00～11:00

#### 参加費

2000円

竹本 織太夫氏  
(太夫)

鶴澤 清道氏  
(三味線)

#### 会場

大阪教育大学  
天王寺キャンパス  
西館1階 107（ホール）

#### 講師プロフィール



久堀 裕朗（大阪公立大学）



竹本 織太夫（太夫）



鶴澤 清道（三味線）

1970年大阪府生まれ。京都大学文学部卒。大阪外国语大学助教授を経て、現在大阪公立大学大学院文学研究科教授。研究テーマは日本近世文学、主に人形浄瑠璃史。主な著書に『上方文化講座 義経千本桜』(共編著)、論文に「淡路座の『仮名手本忠臣蔵』—現行文楽との相違とその価値—」など。

人形浄瑠璃文楽 太夫。1975年生まれ。大阪市出身。1983年、8歳で豊竹咲太夫に入門。初代豊竹咲甫太夫を名乗る。2018年六代目竹本織太夫を襲名。実業之日本社から『文楽のすゝめ』シリーズを3冊既刊。NHK Eテレの『にほんごであそぼ』に2005年からレギュラー出演するなど多方面で活躍。国立劇場文楽賞文楽優秀賞等受賞歴多数。

人形浄瑠璃文楽 三味線。1980年生まれ。大阪市出身。1993年鶴澤清治に入門。1996年文楽協会研究生となる。1999年鶴澤清道と名乗る。同年9月国立劇場で初舞台。これまでに、2007・2012年文楽協会賞、2008年大阪文化祭賞奨励賞、2020・2022年国立劇場文楽賞文楽奨励賞など多数受賞。

#### お問い合わせ

日本学校音楽教育実践学会第30回全国大会実行委員会  
藤本 佳子（大阪教育大学）  
MAIL : jissen.osa30@gmail.com

#### 申込

Peatixによるオンライン決済  
(<https://ongakujissen30osaka.peatix.com>)



# セミナー

8月23日（土）  
9:00～11:00

会場：西館1階  
ホール

講師 久堀裕朗氏（大阪立大学） 竹本織太夫氏（太夫） 鶴澤清道氏（三味線）

その3 文楽にみる近世の社会と芸能

## 領域横断的な視点が切り拓く音楽教育の新たな世界

現在、学校現場ではカリキュラムオーバーロード等の問題を解消するために、教科を横断させてカリキュラムをマネジメントすることが求められています。しかしながら、それは各教科を単に表面的につなぎあわせることで解決するものではありません。人間が生きるという営みの大元に立ち戻り、人間の営みやその発展としての学問領域の観点から課題をとらえなおす必要があるのではないか。

そこで、本セミナーでは「領域横断的な視点が切り拓く音楽教育の新たな世界」と題し、音楽以外の専門領域の方々を講師に迎え、他領域との交流を通して、人間が生命を持続発展していくという営みから教科横断のあり方について考えていきたいと思います。イノベーションを起こすためには異質な分野との交流は欠かせません。本セミナーを通して学校音楽教育にたずさわるわれわれの認識が広がっていくことを期待しています。どうぞふるってご参加ください。

### 久堀 裕朗氏からのメッセージ

江戸時代、人形浄瑠璃（文楽）は大阪を起点に全国各地で上演され、大名から百姓に至るまで、あらゆる階層の人々に親しまれていました。その物語の中には、さまざまな身分の人々の暮らしが描き込まれています。音楽の教科書に取り上げられている

『義経千本桜』や『新版歌祭文』などを例に挙げながら、文楽と当時の社会との関わりや、その音楽的魅力について考えてみたいと思います。—久堀裕朗

## 講師プロフィール



久堀 裕朗氏

(大阪公立大学)

1970年大阪府生まれ。京都大学文学部卒。大阪外国語大学助教授を経て、現在大阪公立大学大学院文学研究科教授。研究テーマは日本近世文学、主に人形浄瑠璃史。主な著書に『上方文化講座 義経千本桜』(共編著)、論文に「淡路座の『仮名手本忠臣蔵』—現行文楽との相違とその価値—」など。



竹本 織太夫氏

(太夫)

人形浄瑠璃文楽 太夫。1975年生まれ。大阪市出身。1983年、8歳で豊竹咲太夫に入門。初代豊竹咲甫太夫を名乗る。2018年六代目竹本織太夫を襲名。実業之日本社から『文楽のすゝめ』シリーズを3冊既刊。NHK Eテレの『にほんごであそぼ』に2005年からレギュラー出演するなど多方面で活躍。国立劇場文楽賞文楽優秀賞等受賞歴多数。



鶴澤 清馗氏

(三味線)

人形浄瑠璃文楽 三味線。1980年生まれ。大阪市出身。1993年鶴澤清治に入門。1996年文楽協会研究生となる。1999年鶴澤清馗と名乗る。同年9月国立劇場で初舞台。これまでに、2007・2012年文楽協会賞、2008年大阪文化祭賞奨励賞、2020・2022年国立劇場文楽賞文楽奨励賞など多数受賞。